

第 72 回 河川レンジャー制度運営委員会 議事要旨

開催日：令和 6 年 6 月 4 日（火）14:00～16:00

実施場所：対面＋オンライン（ウォーターステーション琵琶 1 階会議室）

出席者：制度運営委員会委員：中谷、北井、平山、沼田、若公

琵琶湖河川レンジャー：根木山、水上、野村

事務局：琵琶湖河川事務所；田中、長谷川、粕淵

流域連携支援室；中西、松岡、井上、寺井、深澤

（敬称略）

1. 議事

- 報告 (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) 前回委員会の振り返り（議事要旨）
- (3) 河川レンジャー活動支援室からの報告
- 審議 (4) 河川レンジャー年間活動計画の承認について
- その他 (5) 河川レンジャー活動継続に向けた環境整備について
- (6) 傍聴者からのご意見

2. 結果 [凡例：○ 委員、□ 河川レンジャー、△ 事務局]

(1) 委員長・副委員長の選出

河川レンジャー制度運営委員会規約第 7 条 2 項の規定に基づき、出席委員の互選により今年度の委員長、副委員長が選出された。

役職	選出	区分
委員長	中谷 委員	学識経験者
副委員長	北井 委員	住民

(2) 報告

事務局より「第 71 回委員会の開催結果」「第 71 委員会以降の河川レンジャー活動支援室の主な取組状況」の報告を行った。

(3) 審議

■河川レンジャー年間活動計画（案）の承認について

- ・ 河川レンジャー 3 名の年間活動計画が提案され、全員の計画が承認された。
- ・ 各河川レンジャーの年間活動計画に対する委員の意見・助言を以下に示す。

【根木山 河川レンジャーの年間活動計画（案）について】

- 野洲川中流部・上流部の活動について、平日でも子どもや地域の方が野洲川の水に触れるなどの関わりができると良いと思う。活動を通じて水辺で遊ぶ際の安全確認の方法を伝えるなど、根木山レンジャーの活動以外で野洲川中流部・上流部の水辺を利用している姿が見られるようになれば良いと思う。
- 野洲川上流部などでの活動は、川へアクセスすることすら難しいと思う。活動を企画される際には、河川事務所も川へのアクセス面などについて連携したいと思う。

【水上 河川レンジャーの年間活動計画（案）について】

- 「野洲市MIZBEステーションかわまちづくり」の計画について、活動の先の日常的な利活用につなげていくために、どのようにすればよいかということが河川レンジャーとして大事になると思う。
- 陸域の利用だけでなく、この施設を経由することで、水辺で安全に活動できるなどの拠点になればよい。例えばライフジャケットが置かれていることで、安心して水辺へ行ける、ということに繋がると良いと思う。

【野村 河川レンジャーの年間活動計画（案）について】

- 今年度の成果目標の「参加者の川への思いの深まりを『見える化』する」については、「この人はこのように思っているけれど、私はこのように思っている」「私とちょっと違うね」「私もそのように思った」などの会話が生まれるのが良いかなと思う。
- 「瀬田川たんけんたい」の活動について、応募期間は活動運営と折り合いがつくところで延長してはどうか。活動を通じて参加者に様々なことを伝えたり、関わりができることも大事である。
- 活動支援室からもつながりのある方や近隣の団体等に情報をお知らせするとよい。

(4) その他

■河川レンジャー活動継続に向けた環境整備について

- ・ 事務局より「河川レンジャー活動継続に向けた環境整備」について整備方針の説明を行った。整備方針〔現行の月間活動報告様式と運用（4時間/回×4回分提出）について、今後河川レンジャーへのヒアリングを踏まえ、解決策を検討・試行する〕に対する委員の意見・助言を以下に示す。
- 常に活動がうまくいくように考えることは大事であるが、元来現行の運用条件で活動いただいていることから、環境整備がどの辺りまで許されるのか、うまく考えていけないといけない。
- 河川レンジャーの活動に関する手続きや報告などのプロセスが効率化されることで、活動そのものに時間が使えるようになり、活動がより豊かになることは大事である。
- 議論の前に、制度運営委員会と河川レンジャー、活動支援室含めて、もう少し率直に意見交換する機会があるべき。詰めるところは順番に積み重ねていくことが大事であると思う。
- 過去、月間の活動報告で活動の実態が共有されることは大事なことであるとの積み上げが経過としてあった。
- 活動報告書には、コーディネーターとして、「誰と会い、どのような話をしたのか。どのような場へ行き、どのような声を聞いたのか。」などを記録に残しておくことが一番大事だと思っている。もう一つ、コーディネートすることが価値として認められ、謝金が支払われるというのは貴重な制度である。
- 河川レンジャー自身にとって必要な整理になるのなら文書でも構わないが、負担であれば、要点の箇条書きで作成しても良いかと思う。

- 試行というところで、河川レンジャー一人一人がそれぞれのスタイルで報告していただければ良いと思う。次回委員会で様々なパターンがあれば議論しやすい。
- 議事録として記録が残っていることは、時に自分の身を守ることに繋がる。

■傍聴者からのご意見

(傍聴者) 意見ではなく、お願いだが、野洲川にも瀬田川リバプレ隊のような団体を立ち上げたい。コーディネートをお願いしたい。現在は、野洲川河口付近で清掃活動を行っている。

以上